

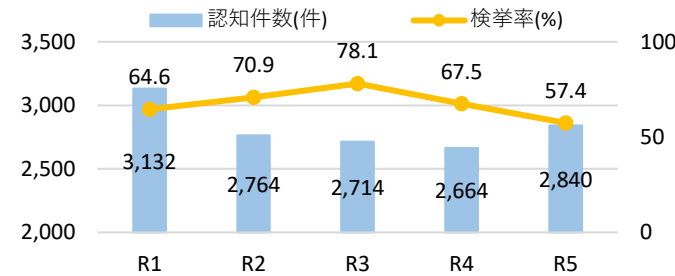
「安全・安心ふくいプログラム2023ー2024」の中間結果（令和5年度）

概要

- ◆目的◆
安全で安心な福井の実現
- ◆基本目標◆
 - 重要犯罪の検挙率100パーセント
 - 交通事故死者数20人以下 など
- ◆取組項目◆
 - 子ども、女性、高齢者を犯罪から守る
 - 犯罪の起きにくい社会をつくる
 - 犯罪の取締りを強化する
 - 交通事故から県民を守る
 - テロ、大規模災害等から県民を守る
 - サイバー犯罪から県民を守る
 - 治安基盤を強化する
- ◆TOPIC◆
北陸新幹線県内開業等を見据えた取組
- ◆期間◆
2023年度～2024年度までの2年間

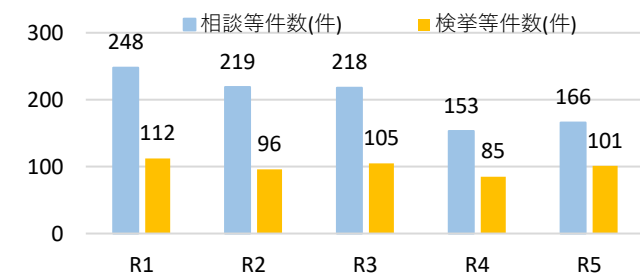
主な統計

刑法犯認知件数・検挙率



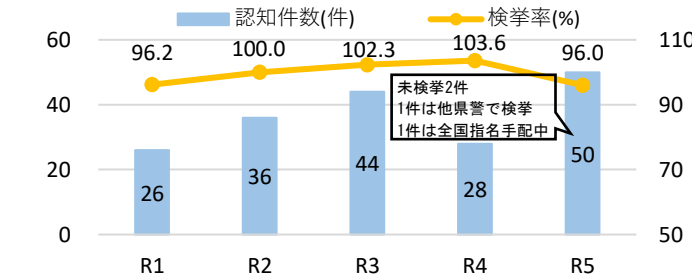
- 認知件数は、戦後最少であった前年に比べて増加
- 検挙率は、高水準を維持(全国8位)

子どもに対する声掛け事案等の相談受理件数



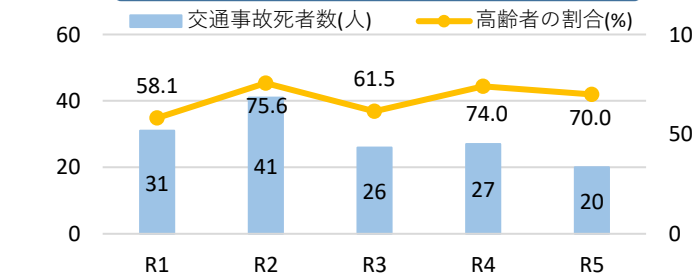
- 相談等件数、検挙等(検挙、指導・警告)件数ともに前年に比べて増加

重要犯罪の認知件数・検挙率



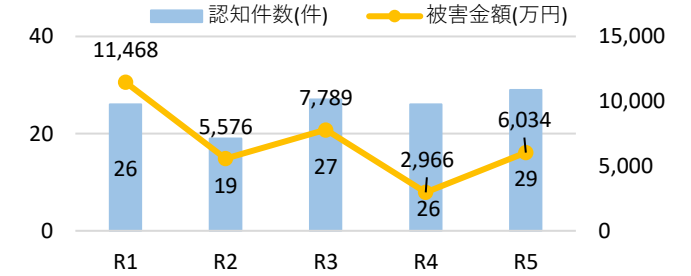
- 認知件数は、前年に比べて増加(「不同意わいせつ罪」等の刑法改正や被害申告しやすい環境の整備が背景と推認)
- 検挙率は、高水準を維持(全国7位)

交通事故死者数・高齢者割合



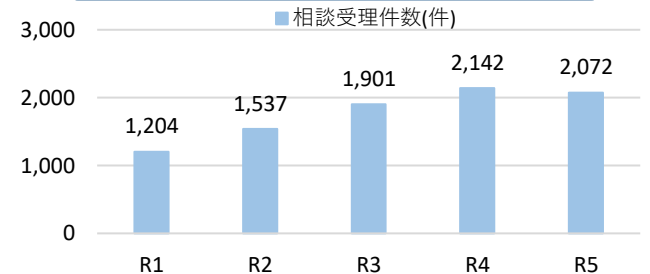
- 交通事故死者数は、過去最少(記録の残る昭和23年以降)で、目標の20人以下を達成

特殊詐欺の認知件数・被害金額



- 認知件数、被害金額ともに、前年に比べて増加

サイバー関連相談受理件数



- 相談件数は、前年より減少したものの、高止まり

主な取組

1 子ども、女性、高齢者を犯罪から守る

- 警察
➢福井ユナイテッドFCの選手との下校時見守り活動
➢SNSに起因した犯罪を防止するための広報啓発活動
➢女性に対する防犯講座の開催
➢特殊詐欺防止に向けたコールセンターの開設と固定電話対策の推進



下校見守り活動

- 県
➢重点見守り隊において登下校時の付添い等を行うなど子どもの見守り活動を推進
➢性暴力救済センター・ふくい「ひなぐく」への経費支援継続と相談員の研修会を開催
➢ケアマネジャーに対する特殊詐欺等の被害防止に関する研修会を実施



重点見守り隊

2 犯罪の起きにくい社会をつくる

- 警察
➢県警アプリを活用した防犯情報の発信開始
➢「ふくいクリーンアップ&安全・安心プロジェクト」の促進
➢街頭防犯カメラの設置に向けた助言・指導
➢少年の犯罪加担等の防止に向けて学校と連携した非行防止教室の実施



県警アプリの開発・運用開始

- 県
➢防犯カメラなどの防犯インフラ整備に対する支援を実施
➢スマートフォン等を利用する青少年や保護者向けにフィルタリング啓発チラシを配布
➢高校生や大学生を対象に消費トラブルに関する出前講座を開催



街頭防犯カメラ

3 犯罪の取締りを強化する

- 警察
➢重要犯罪の主な検挙事例>
➢坂井市における殺人事件
➢小学校教諭による連続強制わいせつ事件
➢薬物犯罪の主な検挙事例>
➢ベトナム人グループによる大麻取締法違反(栽培)事件
➢来日外国人対策>
➢外国人を対象に日本で犯罪に巻き込まれないための講習を実施
➢風俗事犯の主な検挙事例>
➢違法マッサージ店に対する風営適正化法違反(禁止地域営業)事件



押収した大麻草

- 県
➢外国人に対する講習



外国人に対する講習

4 交通事故から県民を守る

- 警察
➢高齢者宅の戸別訪問による安全指導
➢運転免許自主返納出張窓口の開設
➢通学路等における交通取締り
➢自転車等に対する安全指導
➢飲酒運転情報提供窓口「飲酒運転ダメール」の開設



自主返納出張窓口

- 県
➢安全運転サポート車の購入や安全装置の後付けをする高齢者を支援
➢歩行者の安全な道路横断を促進する動画を制作、放送
➢キャンペーンにより横断歩道での歩行者優先意識を徹底
➢通学路における自転車歩行者道の整備



テレビCM

5 テロ、大規模災害等から県民を守る

- 警察
➢原子力施設における24時間体制の警戒警備
➢中部管区広域緊急援助隊合同訓練など各種災害対処訓練の実施
➢福井テロ対策パートナーシップ推進会議を通じた民間事業者との連携



原子力施設の警戒

- 県
➢地震・津波が同時に発生する複合災害を想定し、福井県総合防災訓練を実施
➢弾道ミサイルの発射を想定し、地下室等への住民避難訓練を実施



中部管区広域緊急援助隊合同訓練

6 サイバー犯罪から県民を守る

- 警察
➢サイバーセキュリティフォーラムや体験型セミナーによる被害防止対策の推進
➢防犯ボランティアと連携した広報啓発活動
➢犯罪実行者募集情報等の削除依頼等によるサイバー空間の環境浄化の推進
➢事業者対象のサイバー攻撃を想定したハッキング訓練等の実施
➢ネットワーク利用犯罪の検挙



サイバーセキュリティフォーラム

- 県
➢インターネットの安全活用講座や個人情報に配慮した動画制作の体験教室を開催
➢県内企業のセキュリティ担当者などの従業員を対象に、セキュリティ研修を実施



セキュリティ研修

7 治安基盤を強化する

- 警察
➢警察活動の基盤となる警察署や交番・駐在所の計画的な整備
➢「生命のメッセージ展」、「命の大切さを学ぶ教室」など、被害者支援への理解の促進



新福井警察署 大手交番

- 県
➢性犯罪・性暴力被害者のための「もしもの時」のお役立ち電話帳を作成し、学校や各種啓発活動等において配布
➢会議等を通じて、市町に被害者支援の必要性について働きかけを実施
➢適切な被害者支援を行う人材の育成を目的として専門的な研修会を開催



「もしもの時」のお役立ち電話帳

TOPIC 北陸新幹線県内開業等を見据えた取組

- 警察
➢地域機動警察隊による犯罪情勢に応じたパトロールの推進
➢鉄道警察隊による駅頭警戒や列車警乗の強化
➢繁華街対策推進隊による繁華街のパトロール強化
➢列車、駅構内におけるテロ等未然防止に向けた官民一体型訓練の実施
➢信号や横断歩道等の交通安全施設の整備



J R敦賀駅でのテロ対処訓練

- 県
➢新幹線各駅から県内主要観光地に向かう道路について、区画線の塗り替えや防草対策を実施
➢公共交通機関等へのチラシの掲示や、利用する観光客等に、自転車安全利用の呼び掛けを実施



区画線の塗り替え